

作成日 2000年10月 2日
改訂日 2017年 1月31日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : Suminol Milling Brilliant Red B conc. (N)
整理番号 : LB4362
会社名 : 田岡化学工業株式会社
住所 : 〒532-0006 大阪市淀川区西三国4丁目2番11号
担当部門 : 技術本部 レスポンシブル・ケア室(品質保証)
電話番号 : 06-6394-1227 FAX番号 : 06-6396-0706
緊急連絡先 : 田岡化学工業株式会社 淀川工場 06-6394-1221
E-Mail : rcinform@taoka-chem.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 染料

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】
分類出来ない

最重要危険有害性

物理化学的危険性 : 燃焼によりNO_x、SO_x、CO_x等の有害性ガスを発生するおそれがある。
健康に対する有害性 : 一般に多量の粉塵を吸入した時には気管の負担が過大になると考えられる。
環境への有害性 : 環境に影響を与えるおそれがある。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : ミーリング型酸性染料
C. I. Acid Red 249

成分	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
酸性染料	80 ≤	非公開	非公開
希釈剤	≤20	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。
眼に入った場合 : 直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ、医師の診断を受けること。
応急措置をする者の保護 : 救助者は状況に応じて有害物質に触れないように保護手袋やゴーグル、マスクなどの適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡、二酸化炭素、粉末
使ってはならない消火剤 : 特になし
特有の危険有害性 : 火災によりNO_x、SO_x、CO_x等の有害性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火の際、消火剤等による環境への流出防止を図ること。

消火を行う者の保護 : 適切な保護具 (保護手袋、保護眼鏡、保護衣、防毒マスク、空気呼吸器等) を着用して消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業者は適切な保護具を着用して作業を行い、粉塵の吸入や眼、皮膚への接触を防止する。

環境に対する注意事項 : 環境への流出防止を図り、環境へ影響を起ささないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 防塵マスク、保護手袋を着用し、ほうき、スコップ等で飛散したものを掻き集めて密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用する。

局所排気・全体排気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体排気を行う。

注意事項 : みだりに粉塵が発生しないように取扱う。取扱う場合は、局所排気下で取扱う (安全取扱い注意事項) う。吸入及び眼、皮膚との接触を避けること。取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策 : 湿気を避け、直射日光が当たらないように屋内に保管する。

混触禁止物質 : 「10. 安全性及び反応性」に記載の混触危険物質と同一の場所に置かない。

保管条件 : 密閉して湿気の少ない冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 (2010 年版) OEL 8mg/m³ (クラス 3/総粉塵)
ACGIH (2010 年版) 設定されていない

設備対策 : 空気中の濃度を管理濃度/許容濃度以下に保つために局所排気装置等の適切な換気装置を設置する。この物質を取扱う作業場付近に手洗い、洗眼器、安全シャワー等を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク (防塵マスク、空気呼吸器等)

手の保護具 : 保護手袋 (ゴム手袋、不浸透性保護手袋等)

眼の保護具 : 保護眼鏡 (側板付き保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡等)

皮膚及び身体の保護具 : 遮顔面、帯電防止性能を有する不浸透性の保護衣、ゴム前掛け、保護長靴等

9. 物理的及び化学的性質

物理的形態、形状、色 : 粉末状赤色固体

臭い : 臭気なし

pH : 6.5-7.0 1g/L

融点/凝固点 : データなし

沸点、初留点及び沸点範囲 : データなし

引火点 : データなし

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 (空気=1) : データなし

比重 (相対密度) : データなし

溶解度 (水) : 100g/L (80°C)

オクタール/水分配係数 : データなし

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。

危険有害反応可能性 : 標準状態では危険な反応はしない。
避けるべき条件 : 高温、直射日光及び混触危険物質との接触
混触危険物質 : アルカリ金属水酸化物、酸、強酸化剤、硝酸塩等
危険有害分解生成物 : 燃焼によりNO_x、SO_x、CO_x等を発生するおそれがある。

1 1. 有害性情報

急性毒性 : データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : データなし
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : データなし
吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
残留性/分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 「7. 取扱い及び保管上の注意」の項に記載の注意事項に従うこと。
廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。廃棄物処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託すること。
汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分すること。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。
廃棄物処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

I M D G (国際海上危険物規則) コード

国連番号 : 該当しない
国連輸送名 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

I C A O - T I (国際民間航空機関技術指針)

国連番号 : 該当しない
国連輸送名 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
包装等級 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件 :

「7. 取扱い及び保管上の注意」の項の記載による一般的な注意事項に従うこと。
輸送前に容器が密閉され、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積載すること。荷崩れの防止を確実にを行う。収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 第 57 条の表示・通知対象物に該当しない
化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
消防法 : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない

16. その他情報

引用文献 : (1) 日本産業衛生学会 (2010年版)
(2) JIS Z 7253 : 2012
(3) JIS Z 7252 : 2014

改訂履歴 : 作成 2000 年 10 月 2 日
最新改訂 2017 年 1 月 31 日

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しておりますが含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関しては安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。この情報は、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常取扱いを対象にしたものであって、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。